

令和元年9月27日（金）

記者発表資料

国土交通省関東地方整備局
甲府河川国道事務所

E52 中部横断自動車道 ^{とみざわ}富沢IC～^{なんぶ}南部IC
2019年11月17日（日）15時00分に開通！

国土交通省関東地方整備局が事業を進めている、中部横断自動車道について、開通日時が決定しましたのでお知らせします。

○開通区間 富沢IC～南部IC（延長約6.7km）

○開通日 2019年（令和元年）11月17日（日）

○開通時間 15時00分

※天候により開通時間が変更になる可能性があります。

※同日に開通区間の開通式典を予定しています。（詳細は別途お知らせします。）

○新東名高速道路～中央自動車道間の

約8割（約61km/約74km）が開通！

○今回の開通により、

1）新東名高速道路から道の駅『なんぶ』まで高速道路で繋がります！

2）山梨県、静岡県の所要時間が2時間以内に！

（H30 約2時間35分 ⇒ 現在 約2時間5分 ⇒ 今回開通 約1時間55分）

○この開通による更なる時間短縮により

1）山梨県⇔静岡県の物流・輸送が更に効率化

2）山梨県⇔静岡県の更なる観光周遊の拡大

3）沿線に企業が進出することによる地域雇用の創出
が期待

発表記者クラブ

竹芝記者クラブ、神奈川建設記者会、山梨県政記者クラブ、
静岡県政記者クラブ、静岡県社会部記者会

問い合わせ先

国土交通省 関東地方整備局 甲府河川国道事務所 電話 055-252-5491

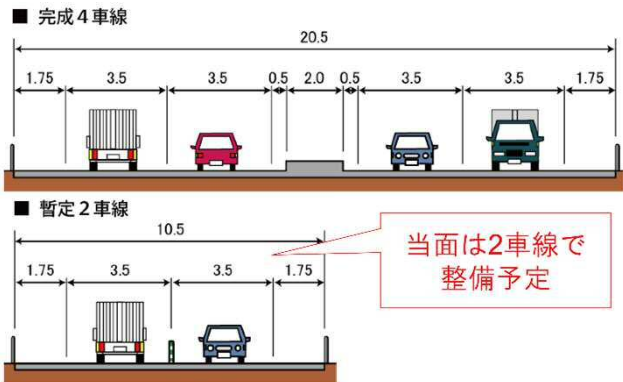
副所長（道路） 松澤 尚利（マツワ ナツノ） 計画課長 香田 晃宏（コダ アキヒロ）

中部横断自動車道(富沢～六郷)の概要

計画概要

- 路線名 中部横断自動車道(富沢～六郷)
- 区間 自) 山梨県南巨摩郡南部町
至) 山梨県西八代郡市川三郷町
- 延長 28.3km
- 車線名 4車線(当面2車線で整備)
- 構造規格 第1種3級
- 設計速度 80km/h
- 幅員 20.5m(当面10.5mで整備)

横断面図

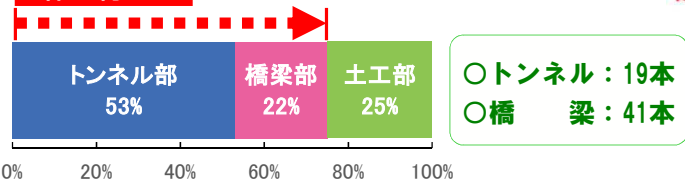


構造物の割合

多くのトンネルと橋を有する高速道路

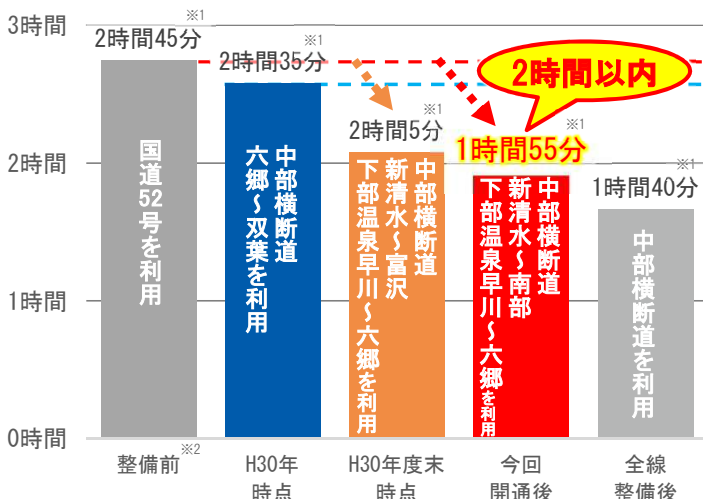
中部横断自動車道(富沢～六郷)には、多くのトンネルと橋があります。延長28.3kmのうち、約75%はトンネルや橋梁です。

全体の約75%



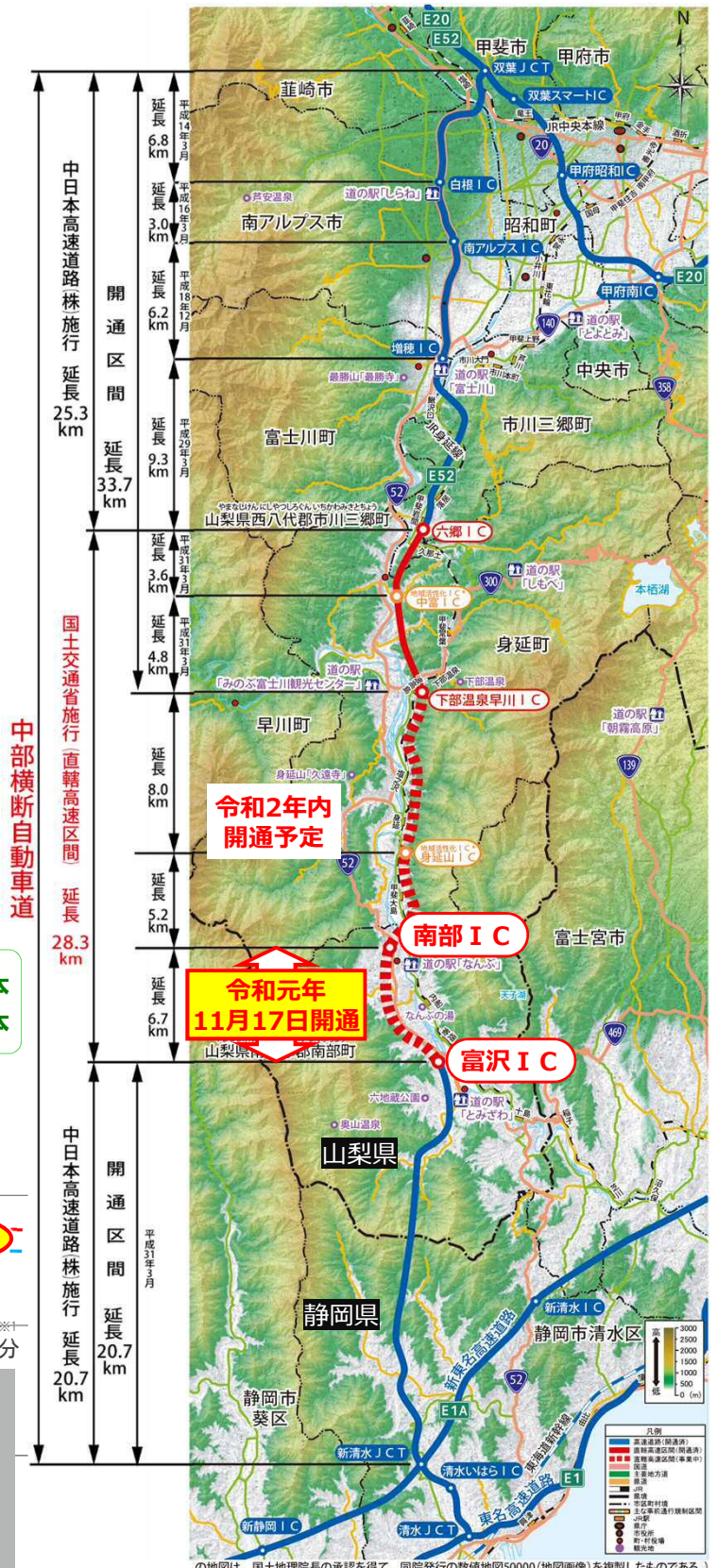
移動時間(山梨県庁～静岡県庁)

山梨県から静岡県までの移動時間が更に短縮されます。



※1. 高速道路、一般国道、主要地方道、一般県道を対象に算出。
高速道路：80km/h、中部横断：70km/h、一般道路：40km/h
山梨県庁から静岡県庁への移動時間を算出。
※2. 中部横断自動車道(新清水JCT～双葉JCT)を利用しないという設定で移動時間を算出。

路線図



* 地域活性化ICとは、地方公共団体が主体となって発意し、整備する追加インターチェンジです。

この地図は、国土地理院長の承諾を得て、同院発行の数値地図50000(地図画像)を複製したものである。

中部横断自動車道 整備効果例

<物流の効率化>

- ・国道52号は、特殊車両※1が走行する際に、徐行に加え前後誘導車の配置が必要な通行支障箇所が存在するなど、走行性や速達性に課題があり、ドライバーへの負担が増大。
- ・中部横断自動車道の整備により、走行性の向上と所要時間の短縮が図られ、港湾までの輸送時間が最大約80分短縮。
- ・物流効率化を促し、山梨の主要農産品(モモ・ブドウ等)の輸出、静岡県産の鮮魚(マグロ等)の安定的な供給を支援。

※1車両の構造や輸送する貨物が特殊な車両。海上コンテナ用セミトレーラなどが含まれる。

山梨県から輸出港までのルート

現在

一般道(国道52号)利用の場合

清水港までの輸送時間は**約160分**※2
・通行支障箇所等により走行性が悪い

中央自動車道利用の場合

東京港、横浜港までの輸送時間は**約180分**※2

国道52号の通行支障箇所
(曲線部障害)



中部横断の整備により、輸送時間は最大 **約80分短縮**

今後

山梨県で生産される
モモ・ブドウ



山梨県で販売される
静岡県産のマグロ



中部横断自動車道の整備により

清水港までの輸送時間は**約100分**※2



※1: 県道以上を対象に算出(高速道路:80km/h、中部横断:70km/h、一般道路:40km/h)

※2: 港への輸送時間と港における待機時間の合計

各港のコンテナ車両待機時間調査結果(東京都トラック協会海上コンテナ専門部会、神奈川県トラック協会海上コンテナ専門部会、清水港利用促進協会)

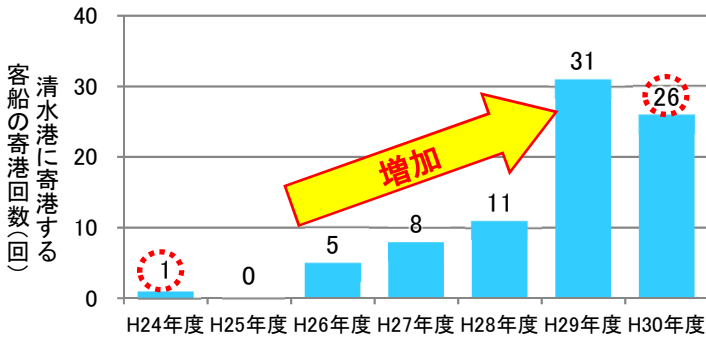
中部横断自動車道 整備効果例

<インバウンド観光の促進>

- ・清水港は平成29年に国際旅客船拠点形成港湾に指定され、寄港する国際クルーズ船が増加。
- ・中部横断自動車道沿線にはアジア圏の訪日旅行者に人気のある観光資源が集中。
- ・中部横断自動車道の整備により、新たな観光ルートが形成されることで、清水港のインバウンド観光の更なる増加、山梨県への国際クルーズ船の訪日外国人観光客の獲得に期待。

インバウンド観光のニーズ

■ 清水港の国際クルーズ船の寄港回数



■ アジアからの訪日旅行者が行ってみたい観光地

順位	観光地
1位	桜
2位	富士山
3位	温泉
4位	日本的な街並み
5位	日本庭園

上位3箇所(桜・富士山・温泉)が中部横断自動車道沿線に集中。

出典：「DBJ・JTBF アジア・欧米豪 訪日外国人旅行者の意向調査(平成29年版)」公益財団法人 日本交通公社

中部横断自動車道を利用した新たな観光ルートイメージ

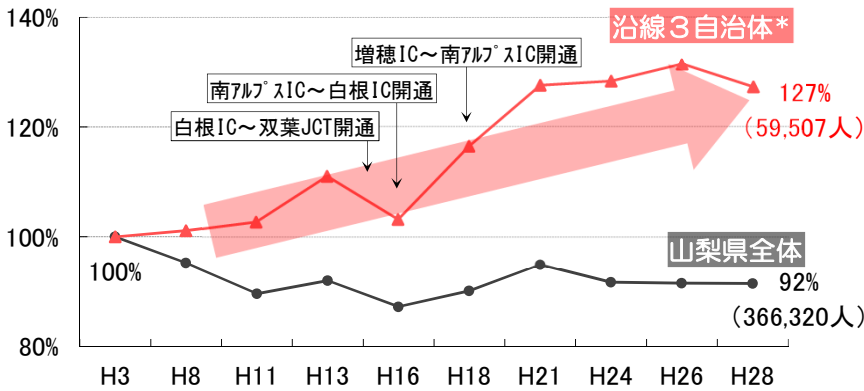


中部横断自動車道 整備効果例

<周辺の新たな企業立地の状況>

- ・既に開通している中部横断自動車道の区間の沿線では、中部横断自動車道等への良好なアクセス性から、企業立地が進展。地域の雇用創出に貢献。
- ・今回開通する区間の沿線においても、全線開通を見越した企業立地が進展中。
- ・今年9月公表の基準地価(7月時点)では、山梨県の工業地の平均変動率が1.2%上昇となり、平成5年度以降、27年ぶりの上昇。

沿線3自治体*の雇用者数の推移 平成3年を100%

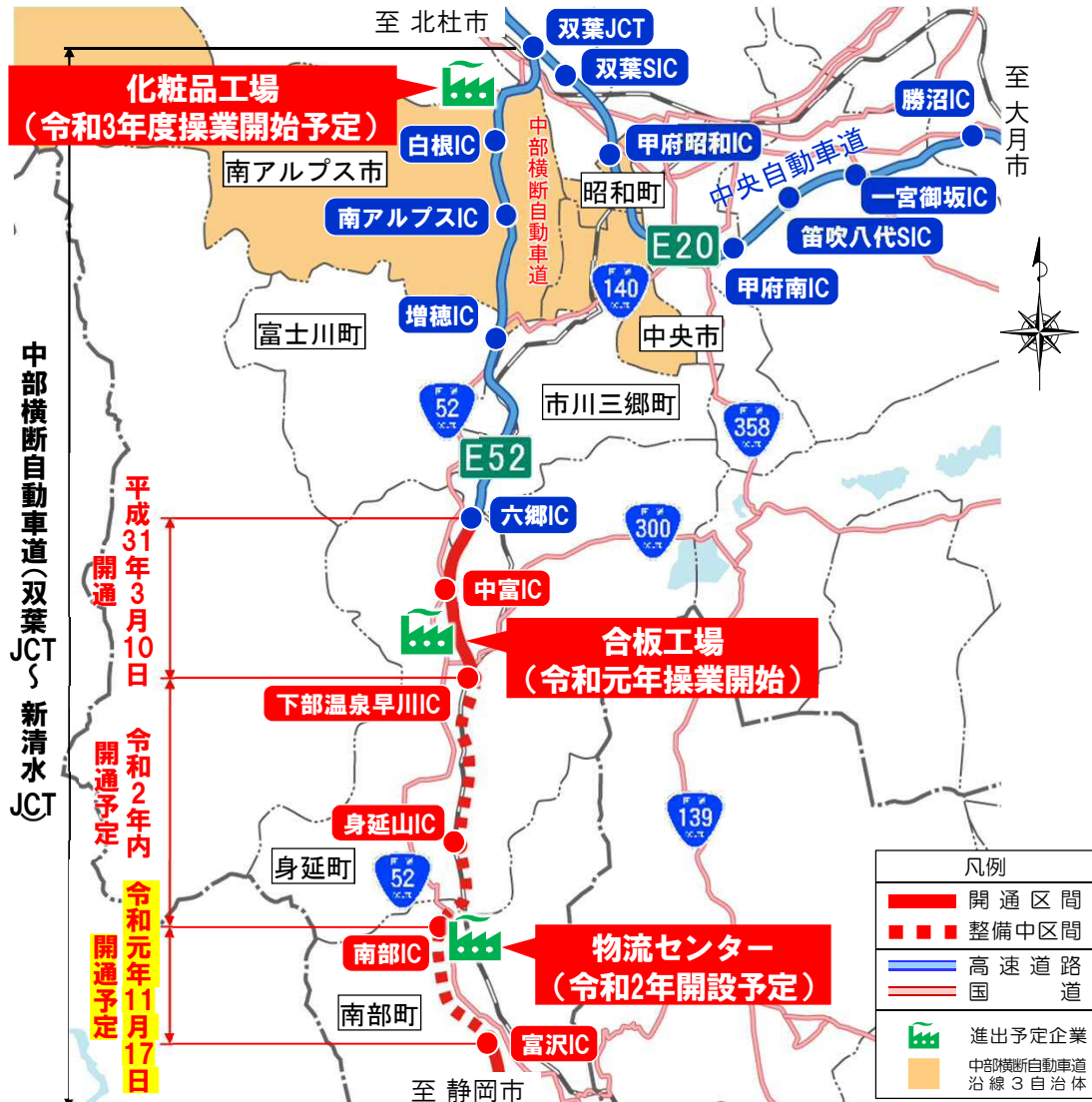


出典:事業所企業統計調査(~H18)、経済センサス基礎調査・活動調査(H21~)より民営のみ集計 *沿線3自治体:南アルプス市、中央市、昭和町

進出予定企業の声

- 【化粧品会社 化粧品工場建設】
(令和3年度操業開始予定)
・従業員300~400人のうち8~9割について現地雇用を見込む。
- 【合板工場建設】(令和元年操業開始)
・工場の従業員約40人のうち30人を地元から雇用。
- 【物流会社 物流センター建設】
(令和2年度開設予定)
・従業員は、周辺町内から新規雇用(10名~40名)を予定。

出典:企業ヒアリング(H31.1~R1.5)

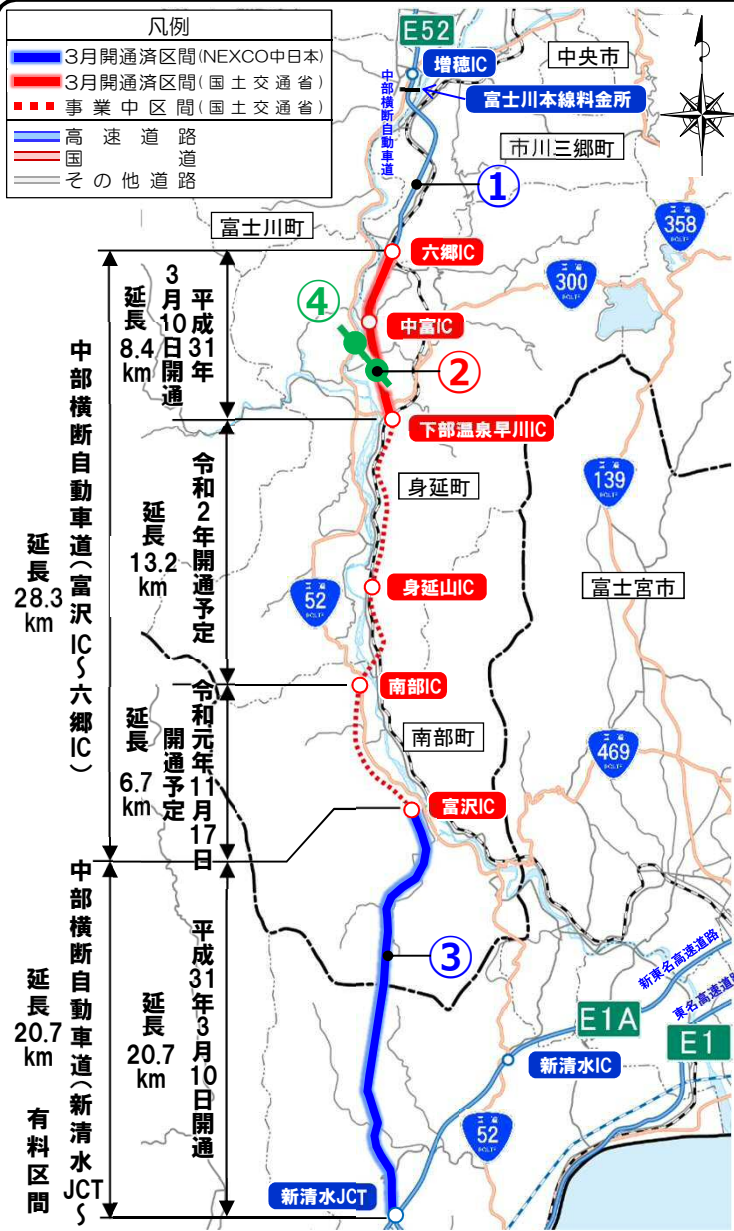


凡例	
—	開通区間
- - -	整備中区間
—	高速道路
—	国道
	進出予定企業
	中部横断自動車道沿線3自治体

中部横断自動車道開通区間の交通状況[開通6ヵ月後]

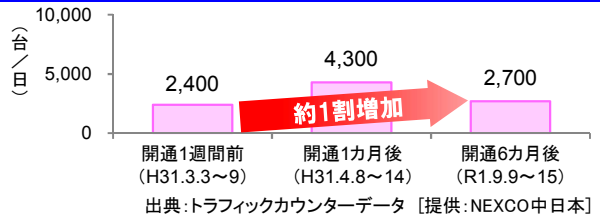
参考

- 下部温泉早川IC～六郷ICの開通により、隣接する六郷IC～増穂ICは、開通6ヵ月後の交通量が約1割増。
- 開通6ヵ月後の交通量は、約2,700～8,300台/日。
- 開通区間は、中部横断自動車道への交通の転換にともない、並行する国道52号の交通量が約2割減。
- 富沢IC利用者のうち約半数が六郷ICを利用するなど、未供用区間（富沢IC～下部温泉早川IC間）を通過する交通が多く、全線開通による利用促進が期待。

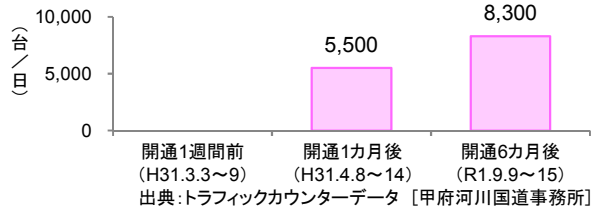


静岡・山梨区間の交通量 (平成31年3月10日開通)

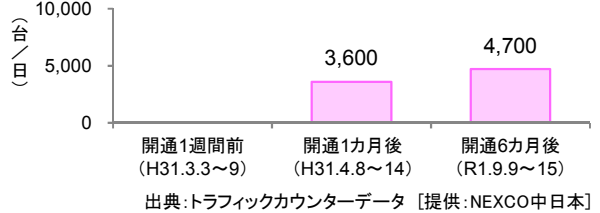
①六郷IC～増穂ICの交通量



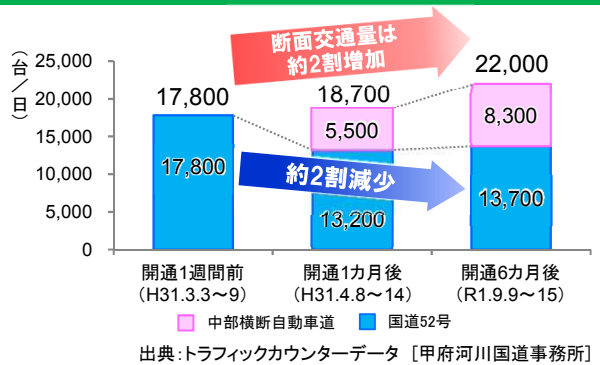
②下部温泉早川IC～中富ICの交通量



③新清水JCT～富沢ICの交通量

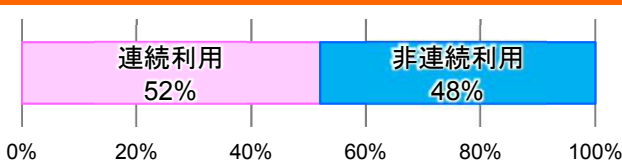


④下部温泉早川IC～中富ICの断面交通量



中部横断自動車道(静岡・山梨区間)の利用状況

富沢IC利用者が六郷ICを利用(連続利用)する割合



・平成31年3月11日(月)～4月13日(土)のETC利用者

・連続利用は、富沢ICをETCで利用した車両のうち富沢ICと富士川本線料金所を80分以内に連続して利用した車両を集計(規制速度時の所要時間44分に休憩時間相当の30分を加えた値)。

出典:ETCログデータ [提供:NEXCO中日本]